

【研修国（モンゴル国）概要】

首都:ウランバートル

面積:156万4,100平方キロメートル(日本の約4倍)

人口:354.4万人(2024年、モンゴル国家統計局)

民族:モンゴル人(全体の95%)及びカザフ人等

言語:モンゴル(国家公用語)、カザフ語

宗教:モンゴル仏教等(社会主義時代は衰退していたが民主化(1990年前半)以降に復活。

1992年2月の新憲法は信教の自由を保障)

主要産業:鉱業、牧畜業、流通業、軽工業

通貨:トグログ(MNT) ※1米ドル=3389.98トグログ(2024年平均、モンゴル国家統計局)

※本誌ではトゥグルグと記載

二国間関係:モンゴルの民主化・市場経済化以降、両国関係は急速に発展。2022年11月、「平和と繁栄のための特別な戦略的パートナーシップ」を設立。地域・国際場裡での協力を含め、幅広い分野で交流、協力が進展している。

(外務省ホームページより抜粋)

モンゴルは、日本の約4倍の面積に、約350万人が暮らす、自然豊かな内陸国です。平均年齢が29歳と若く、日本語が堪能な人も多い国です。成田空港からの直行便もあり、約5時間で到着します。石炭、銅、ウラン、レアメタル・レアアース等の豊富な地下資源に恵まれており、鉱業部門（GDPの約20%、輸出の約80%を占める）が現在のモンゴル経済を牽引している一方、鉱物資源の輸出に大きく依存した経済構造となっており、非鉱業セクターの育成による産業多角化が課題となっています。JICAは、モンゴルにおいて、以下の3つの重点分野を協力戦略として位置づけ、事業を展開します。

1. 健全なマクロ経済の運営とガバナンス強化
2. 環境と調和した均衡ある経済成長の実現
3. インクルーシブな社会の実現

(JICA ホームページより抜粋)

